

# アクシデント 報告書

ZIPLINE ADVENTURE NETWORK

ZIPLINE安全向上のためご報告よろしくお願ひします。

どんな些細なことでもガイド全員で情報共有したいと考えております。

コース たかつえコース	年月日 2020年9月22日	発生時間 9時20分頃	発生場所 NO,2 ドキドキライン ゴール付近	報告者 湯田
気象状況 曇り その他状況 担当した吉津氏は、およそ1年のブランクがあった。当日ガイドをする予定の従業員が急遽ケガのためこれなくなったためのピンチヒッターだった。				
内容 <input type="checkbox"/> お客様(傷病者)氏名：武内 48歳 女性 <input type="checkbox"/> 受傷者部位：右手小指の爪はがれ、薬指裂傷、 <input type="checkbox"/> 医療機関名：南会津病院 <input type="checkbox"/> 薬局名：南会津病院 <input type="checkbox"/> 事故発生の実を確認した者の職名、氏名：ホテル営業部長 鈴木 昭弘 概要 お客様2名(母と娘小学4年生)2番目コース(ドキドキライン)ゴール付近において、当該受傷者がゴールした時に勢いを殺すことが出来ず後方に戻されそうになったため、慌てて右手でワイヤーを掴んだところ、後方に向かって動くプーリー(滑車)に右手小指を挟む事故が発生した。 当該受傷者へ事故状況の確認をしたところ、ガイドから絶対にワイヤーを掴まないようにと説明案内を受けたが、自分の不注意で触ってしまったと事故発生原因の過失を認めております。湯田英明副主任が応急手当(消毒)及びケガの容態を確認後、南会津病院へ搬送、ケガの処置をしてもらいました。ケガについては、爪の剥がれと、軽い裂傷と診断されました。 反省材料として、お客様に手袋の貸出をしておりませんでした。今後同様の事故が発生することも予想されますので、けがの軽減のため手袋着用の義務付けと、もう一度ガイド教育の徹底をしていくことと致しました。				
コメント 終点での逆走が第一起因ですね、逆走を防ぐためにはブリーフィングでの講習(ワイヤーにもたれかからず立ち上がる)が大切です。 とっさにワイヤーを掴んでしまうのを目撃したことは何度かあります、人の回避行動として防ぎきれない事かもしれません、手袋の装着をお願いします。 手袋(軍手)でワイヤーを掴み指先の生地を巻き込んだ事故もありました。ごつい皮手袋が最良ですが費用がかかります、いずれにしてもワイヤーを掴まないことを徹底しましょう。 関				